

笑顔あふれる未来創造委員会

委員長 佐藤 宏 樹

会議体報告

2020年度笑顔あふれる未来創造委員会は、次世代を担う子ども達が世代間交流を通じて地域資源と関わり合う機会を創出するとともに、体験の中から感動を得られる活動を行うことを目的とした事業を展開してまいりました。

まずは4月担当定例会では、Zoomを活用したオンライン例会を行い、Web会議の方法と新型コロナウイルスの基本的な知識を学びました。ネット環境があればどこからでも参加ができる利便性を活かし、仕事終わりに職場から参加される会員もあり、今後の出席率向上につながる可能性が見いだせました。また、リモートワーク等、自社で活用できる業務内容などをグループワーク形式で話し合いました。次に、6月定例会では、新しい生活様式の内容に沿って、体温測定の実施とマスク着用のうえ、人と人の距離を1m以上空けて集合型で行いました。前半では、厚生労働省より公表された新しい生活様式の説明と実践した動画を上映し、後半では山内大地先輩を講師に招き、税理士の視点から新型コロナウイルスによる支援策や、業務改善のための制度や助成金、節税に関することなどの経営改善について学び、自社の経営内容を見つめ直す機会となりました。

さらに、新型コロナウイルスの影響で様々なイベントが中止されている中、全国一斉花火プロジェクトに参画し、大きな事故やトラブルもなく無事に打ち上げを成功させ、地域の人々に明るい話題を提供することができました。

事業としては、理事長所信である世代間交流によって子ども達の忘れられない思い出を創出することを目的として、能代山本地域住民が世代間交流によって1枚の絵を描き、大型トラック、電車、店舗、新聞に掲載した「プリトラ!!ふるさとの夢と自慢をのせてどこまでも」を開催しました。合計で328枚の応募があり、実際にプリントトラックを見に来た子ども達の笑顔も見られ、コロナ禍であっても地域に良いインパクトを与える事業を実施することができました。事業全体を通して、委員会メンバーを始め多くの能代JC会員からの協力があり、新たな時代から次代へつなげるため、多くの人々を笑顔にするために行動し続けた結果、笑顔あふれる未来の創造に繋がったと確信しております。

最後に、初委員長として1年間を通して、頭で思い描いているものを文章にし、言葉で伝えることの難しさを実感するとともに、どのような状況になっても切り替えスイッチを押し、様々な状況に対応し行動することの大切さを学びました。私の思いを受け入れてくださった中野副理事長、意見を出し合いこの1年間最後まで行動してくれた委員会メンバー、事業への協力をいただいた全ての能代JC会員のみなさん、委員長という大役を与えてくださった後藤理事長に感謝し、委員会報告とさせていただきます。

事業報告

日付	内容	会場	公益性
4月27日	4月担当例会 「今、私たちにできること」	Web	-
6月23日	6月担当例会 「新時代 ～ウィズコロナ～」	能代市文化会館 中ホール	-
7月24日	全国一斉花火プロジェクト ーはじまりの花火ー	能代市 能代町下浜	○
11月 3日	11月担当例会 「プリトラ!!ふるさとの夢と 自慢をのせてどこまでも」	能代市役所 駐車場	○
通年	責任感と行動力ある 会員拡大運動の推進		-
通年	創立70周年事業の準備協力		-

決算

項目	金額
・4月担当例会「今、私たちにできること」	0円
・6月担当例会「新時代 ～ウィズコロナ～」	21,828円
・全国一斉花火プロジェクト ーはじまりの花火ー	110,550円
・11月担当例会 「プリトラ!!ふるさとの夢と 自慢をのせてどこまでも」	643,480円
合計	775,858円